



## 自閉スペクトラム症（ASD）の理解と支援

教科・領域	地域支援委員会
名称	大阪整肢学院の職員向け学習会
写真 使用方法	<p>※ 大阪整肢学院の職員が都合がよいときに視聴できるよう、画面と音声を重ねて、見るだけで研修ができるようになっている。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	大阪整肢学院の職員のみなさま
素材・作り方	プレゼンテーションソフトを使って作成した DVD
使ってみて (効果・反省等)	<p>昨年度に、大阪整肢学院の職員から「学習会」をもってほしいという依頼があったが、頓挫していた。2 学期に、個人的に当該職員に見てもらい、使える感触があった。</p> <p>現在、首席を通して、学院職員に向けて、使えるかどうかを確認中で、公にはまだ使用していない。</p> <p>もし、利用が定着するようなら、テーマを変えたものも作成していく予定である。</p>
保管場所 又は所有者	地域支援委員会



# 同和問題に関する人権学習の在り方

## 府立学校人権教育研修A報告会

### 同和問題に関する 人権学習の在り方

令和4年2月28日

#### 本日の研修の流れ

##### 1.同和問題について

- 1-1 同和問題とは
- 1-2 歴史的経緯
- 1-3 部落差別の現在とその課題

##### 3.人権学習を充実させるために

- 3-1 学年・学校で取り組むこと

##### 2.人権学習を実施するにあたり

- 2-1 同和問題に関する人権学習ねらいの設定
- 2-2 2つの出発点
- 2-3 人権学習の内容
- 2-4 授業の進め方

##### 4.おわりに

- 4-1 まとめ
- 4-2 参考資料

#### 1.同和問題について

- 1-1 同和問題とは
- 1-2 歴史的経緯
- 1-3 部落差別の現在とその課題

#### 1-1 同和問題とは

##### 同和問題とは

部落差別により基本的人権を  
奪われてきた人がいるという  
社会問題



#### 1-1 同和問題とは

##### 部落差別とは

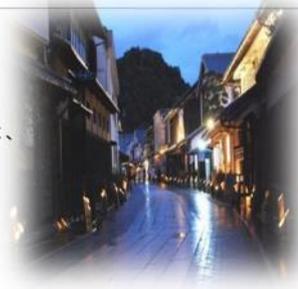
特定の地域に居住する人々など  
に対して、結婚・就職を含む日常生  
活の上で差別する行為



#### 1-1 同和問題とは

##### 被差別部落とは

江戸時代の身分制度のもと、  
差別の対象となった地域



#### 1-1 同和問題とは

##### 同和地区とは

被差別部落のうち、差別を撤廃す  
るために、行政政策の対象として  
指定された地区



#### 1-2 歴史的経緯

- 967年—延喜式施行(触穢思想)
- 江戸時代—身分制の確立
- 明治 4年—太政官布告(解放令)
- 大正11年—全国水平社 設立
- 昭和40年—同和対策審議会 答申
- 昭和45年—同和対策事業特別措置法(以下、同対法)の制定
- 平成14年—同対法の失効

### 1-3 部落差別の現在とその課題

#### ▶恋愛・結婚に関する差別

私的な領域であり、直接アプローチすることが難しい・・・

個人の身元調査を目的として不正に個人情報を取得するなど

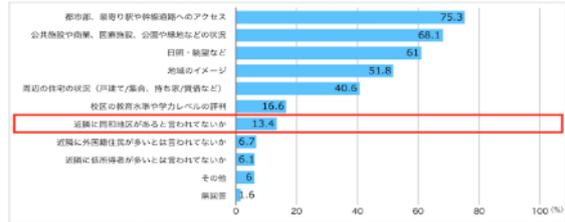


本人通知制度を導入

個人情報の不正取得を防止するための制度が導入

### 1-3 部落差別の現在とその課題

人(身分)を対象とした差別 → 土地(場所)に対する差別



### 1-3 部落差別の現在とその課題

#### ▶インターネット上での部落差別

偏見の拡散や人・場所をアウティング



出版中止の仮処分決定、インターネットのモニタリングと削除要請

### 1-3 部落差別の現在とその課題



## 2. 人権学習を実施するにあたり

### 2-1 同和問題に関する人権学習ねらいの設定

#### 2-2 2つの出発点

#### 2-3 人権学習の内容

#### 2-4 授業の進め方

### 2-1 同和問題に関する人権学習のねらいの設定

#### ◀何のため▶

差別をしてはいけない



差別に気付くことができる  
なくす行動ができる

#### ◀誰のため▶

すべての生徒が自分の生き方を考えるため

### 2-2 2つの出発点

#### ▶ 教員が部落差別の現実を認識

部落差別は遠い存在でも無縁でもない



#### ▶ 児童生徒の実態把握

学習を通して親を具体的に持ち取り進む



### 2-3 人権学習の内容

#### ▶ 気になる児童生徒に届ける意識

#### ▶ 事実に基づく

#### ▶ 差別解消へ展望が持てるように

#### ▶ 生き方の学べるような取り組み

#### ▶ 新しい研究成果を反映させる

#### ▶ 様々な状況にある生徒たちへのアプローチ

### 2-4 授業の進め方

#### 教員の姿勢



児童生徒の授業におけるモチベーションを高めることができる

### 2-4 授業の進め方

#### 多様な意見が交流できる場を作る



意見を出し合い、  
交流し気付きあう

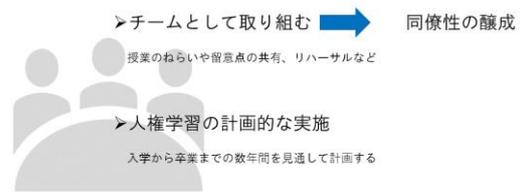


信頼関係の形成

### 3.人権学習を充実させるために

3-1 学年・学校で取り組むこと

### 3-1学年・学校で取り組むこと



### 4.おわりに

4-1 生徒に育みたい力

4-2 参考資料

### 4-1 生徒に育みたい力

今の社会で生きていく・より良く変えていく力



### 4-2 資料紹介

▶斎藤直子, 『結婚差別の社会学』, 勁草書房

▶府立学校人権教育研修A資料

「ゆまにてなにわ」

「人権教育リーフレット」など



# ボランティア養成講座

## 第1回 ボランティア 講座

2021年8月5・6日  
大阪府立中津支援学校

※水分摂取等は適宜OK。  
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用及び、飲食中の会話はお控えください。

中庭「春町種のはな」

### 本日のながれ

1. 校内見学
- 2-1. 講義 「支援学校とは」
- 2-2. 「中津支援学校について」
3. 実技 「車いす体験」

### 1. 校内見学

- 1階：小学部棟・職員室等
- 2階：中学部棟・特別教室・保健室等
- 3階：高等部棟・多目的ホール  
特別教室棟
- 屋上：プール

### 2-1. 支援学校とは

大阪府の支援教育  
～障がいについて～

首席 川村 弘之

### 2-2. 中津支援学校について



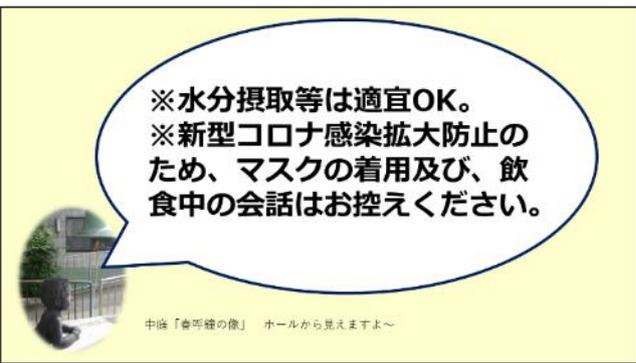
### 2-2. 中津支援学校について

- ①校種等
- ②在校児童生徒
- ③授業の一場面
- ④そのほかいろいろ



### 4. 実技「車いす体験」

- ①車いすいろいろ
- ②車いすを押してみよう



### 本日のながれ

1. 実技「車いす体験」
2. 講義「学校ボランティアについて」
3. アンケート

ミニ展示会

### 1. 実技「車いす体験」

- ① 児童生徒の好きな場所
- ② 以外ときづかない道いろいろ

### 2. 「学校ボランティアについて」

- ① 『教育コミュニティづくりの活動』
- ② 本校でのボランティア

- ① 『教育コミュニティづくりの活動』
  - 1, 学校支援活動
  - 2, おおさか元気広場
  - 3, 家庭教育支援

### ② 本校でのボランティア

学校支援活動を活用し…

- ・ **学習支援** …サークル活動、社会人支援員
- ・ **部活動の支援** …パソコンサークル、生徒会活動
- ・ **花壇等の整備** …地域コミュニティ、社会人支援員

### サークル活動

～社会人支援員～

- ・ よみかせ
- ・ 手あそび
- ・ わらべうた

etc.

**児童生徒会清掃活動**  
～地域コミュニティ～



- ・児童生徒会の活動の一環として、学校周辺の清掃活動。
- ・地域の方々と協働で行っている。



**花壇等の整備**  
～地域コミュニティ・社会人支援員～



- ・校舎内の花壇整備
- ・児童生徒と花苗植え
- ・ハーバリウムづくり
- ・ハーブの手湯  
etc.





# 防災士育成研修での取組み

○ 研修日時：2021年9月9日（木）～9月10日（金）

○ 時間割

※予定は変更される場合がありますので、予めご了承ください。

1日目	1～3時限 (9:00～12:00)	4時限 (13:00～14:00)	5時限 (14:10～15:10)	6時限 (15:20～16:20)	7時限 (16:30～17:30)	17:30～ 17:40
9月9日 (木)	防災士に期待される活動 防災訓練と災害図上学習	災害情報の活用と発信 阪本 邦彦 (江戸川大学教授・名古屋大学防災機構研究員(客員教授))	耐震診断と補強 阪本 邦彦 (江戸川大学教授・名古屋大学防災機構研究員(客員教授))	土砂災害 山下 達 (シバタ工業株式会社 理事)	地震・津波による災害 川崎 淳司 (株式会社ハイドロ 総合技術研究所 取締役 名城大学特任教授)	連絡事項
	久保 孝太 (N T T ラーニングシステムズ株式会社)					
9月10日 (金)	1～3時限 (9:00～12:00)	4時限 (13:00～14:00)	5時限 (14:10～15:10)	6時限 (15:20～16:20)	7時限 (16:30～17:30)	試験終了次善編次
	AED・心臓蘇生講習 AED普及協会 ※簡単な実技を行いますので、動きやすい服装でご参加下さい。	行政の災害救助・応急対応 河田 忠昭 (関西大学理事・特別任命教授)	自主防災活動と地区防災計画 河田 忠昭 (関西大学理事・特別任命教授)	気象災害・風水害 JCB 株式会社 <del>株式会社</del> (日本電気株式会社)	防災士資格取得試験	終了証授与

2日間にわたり、防災に関わる様々な内容の講義を受講した。どれも学びの深いものであり、今後の学校の安全管理に繋がっていきたい。

以下に、1日目に実施された「防災訓練と災害図上訓練演習」についてまとめる。

## 「防災訓練と災害図上訓練演習」について

本講義では、防災訓練の中でも図上訓練について学び、「HUG」という避難所運営ゲームを実際に行った。

### 実技訓練（緊急対応の模擬行動）

時間的余裕がない初期や応急期に行われる対応行動を、迅速かつ円滑に行うために必要な技能の習得を目的に行われる。

### 図上訓練（一定の状況下でのシュミレート）

模擬的な災害状況を付与し、その下で情報収集・伝達や意思決定を試す。

→ 時々刻々変化する災害状況のイメージを具体的に描き、迅速かつ的確な情報収集・伝達や意思決定のノウハウを習得することを目的に行う。

状況付与の精細度	手法の名前	特徴(対象者と有効性)
状況自己創出型 (アバウトな状況付与)	1.状況予測型	市町村のトップなどの演習によく使われている。防災対策を考える際、適している手法
	2.防災グループワーク	一般市民やボランティア、自主防災組織の役員などが防災対策を考える際、適している手法
	3.DIG(Disaster Imagination Game)	自主防災組織などが地域の防災マップや防災計画を作るために行われることが多い。各地で非常に多く行われており、実績が多い手法
詳細状況付与型	4.図上シミュレーション	防災担当者が初期期に直面する厳しい事態を理解するとともに、既存のマニュアルや計画の有効性を検証し実践的なものにするのに適した手法
	5.避難所運営ゲーム(HUG)	避難所の開設・運営責任者になった場合、直面するさまざまな事態を理解し、マニュアルを作成・検証するのに適した演習手法
	6.クローズド	災害時によく見られるトレードオフという状況への対応を考えることに特化した演習手法

図上演習の代表的な手法  
(防災士教本より)

※ HUGとは？

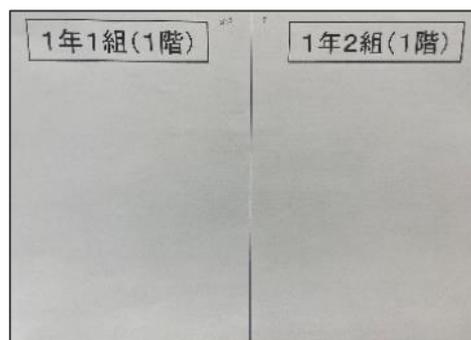
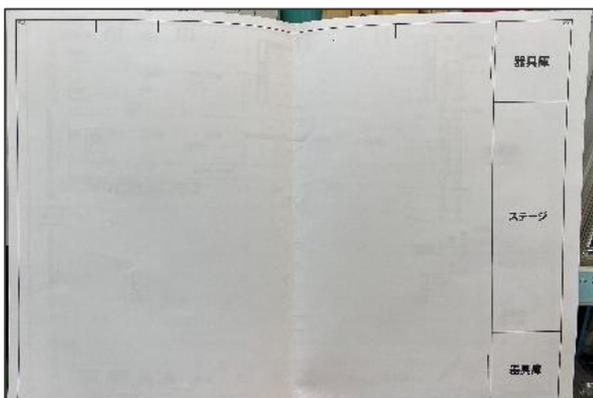
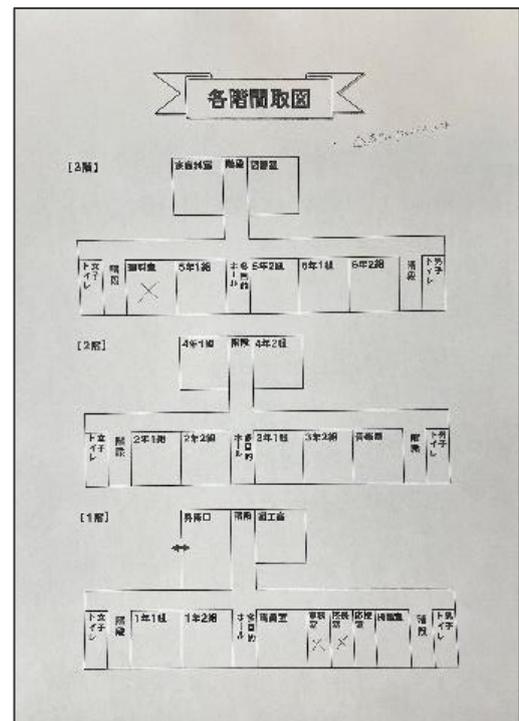
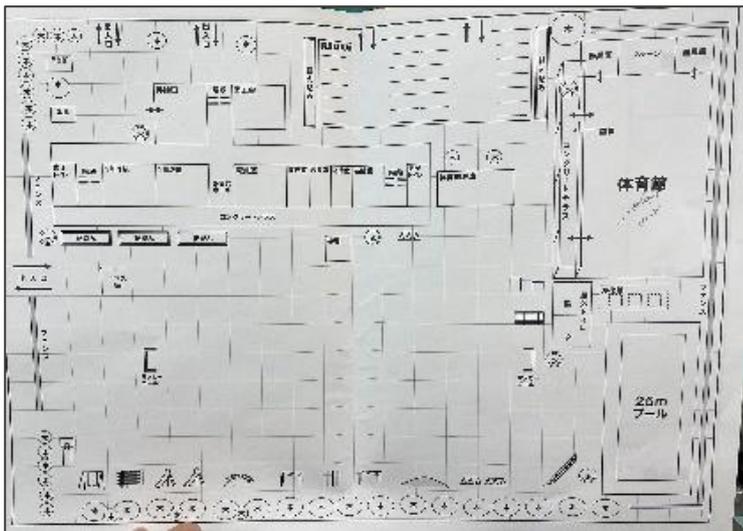
〈HUG = Hinanjyo (避難所) Unei (運営) Game (ゲーム)〉

避難所の「年齢・性別・国籍」やそれぞれの抱える事情が書かれたカードを、避難所に見立てた平面図に適切に配置し、避難所で起こる様々な出来事にどのように対応していくかを模擬体験するゲーム。班ごとに、討議、相談しながら「優先順位、ルール等」を決めて、避難所の開設・運営をシミュレートする。（消防科学総合センターHPより）

**HUGを実施するにあたって**

• ゲームスペース等の準備

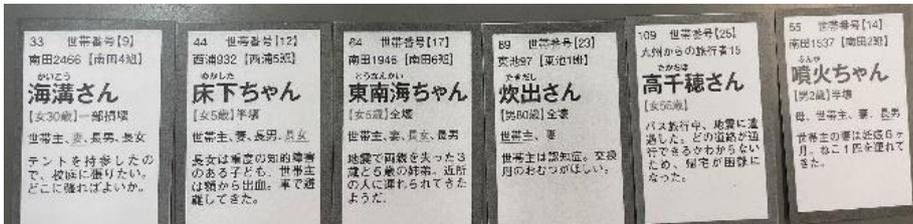
1グループで1つのゲームスペースを囲むように配置する。1グループは7人以下（内1人は読み上げ係）で行うことが推奨されている。ゲームスペースが準備できたら、平面図等のゲーム用シート（※1）をグループ分コピーし、並べる。この他、必要に応じセロハンテープ、多色油性ペン（又はマーカー）、筆記用具、メモ用紙（A4白紙など）、付箋、ホワイトボードなどを用意する。



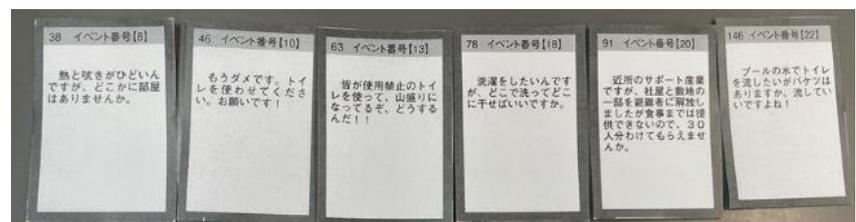
※1 平面図用のゲーム用シート

HUG は、1 セット 250 枚のカードで構成されている。次々と付与される避難者カードとイベントカードに対し、避難者の振り分けや対応を模擬体験する。

- 避難者カード： 熱がある子ども、認知症の高齢者、日本語が話せない外国人、ペット連れ、透析患者等、避難者の様々な特性が書かれている。
- イベントカード： 何らかの様々な出来事が起こる。



← 避難者カード



イベントカード →

- 避難当日の前提条件（震度、気象条件、季節、時間、被災状況、避難者の様子 等）に対し、各グループで、避難所の開設・運営（避難者をどう割り振っていくか等）をシミュレートする。
- 避難所運営に必要なことの一例
  - ・ 運営組織づくり
  - ・ 避難者スペースの割り振り
  - ・ 問い合わせや取材への対応、名簿の作成
  - ・ 食料、物資の受け入れ、配給
  - ・ トイレ、ごみ、シャワー、ペット
  - ・ ボランティアの受け入れ 等

⇒ ゲーム終了後、意見交換の時間を設け、様々な考えを共有することが大切☆

～ 実際に HUG を体験してみて ～

今回の講義では、コロナウイルスの影響により、グループ単位での取り組みを実施できず、個人で避難者の割り振りをを行い、避難所の運営を模擬体験した。

避難所運営は決して容易なことではないと認識していたが、HUG を実施してみて、いかに難しいかということ強く実感した。スペースの有効利用や、安全面、様々な人の実態や背景…。臨機応変な対応力や判断力、そして周りの人との協力の大切さを学ぶことができた。

今回の経験を今後活かし、校内の安全管理に努めていきたい。



## 学校看護師配置に向けて

令和3年度より学校看護師配置に向けた検討を令和2年6月より行った。令和2年度に「校内医療的ケア検討会議」を実施し、学校看護師配置までの流れは以下の通り進めた。

### 【 学校看護師配置までの流れ 】

- 令和2年 6月： 医療的ケアを校内で行うことについて検討をおこなった。また、「学校看護師配置についてのアンケート」の実施を行った。
- 7月： アンケート結果を係りで話し合いを行った。
- 8月： 運営会議・職員会議で今後の流れとマニュアル作成を行うことを提案する。また、「校内医療的ケア検討会議」を実施することを提案した。メンバーは教頭・首席（1名）健康安全指導部（各学部1名）・養護教諭（2名）の7名で、令和2年度末までとした。
- 9月： 学校より教頭・養護教諭・保健主事、大阪整肢学院より看護長・A棟師長・B棟師長が参加する、保健連絡会で学校看護師配置の現状までについて説明を行う。また、日帰りの行事については、学校看護師が付き添いをおこなえるが、泊行事については、今まで通り大阪整肢学院にお願いすることも説明した。物品の受け渡しについても今後、検討していく必要があることを確認した。
- 10月： 第1回校内医療的ケア検討会議を実施。
- ① 次年度の看護師配置を教員定数1とし、20時間を2名で話し合った。
  - ② 次年度の医療的ケアを進めるための組織を委員会とすることを話し合い、校長に提案することを決めた。
  - ③ 看護師の場所として、職員室と保健室の2つに絞り話し合いを行った。この時点では、職員室の座席数の確認、保健室の片づけを行いながら考えることになった。また、物品の置き場についても考えた。
  - ④ 次年度、学校看護師を配置するにあたり、必要物品について話し合いを行った。
- 11月： 10月に支援教育課より送付された「大阪府立支援学校における医療的ケアの実施についてのガイドラインに係る資料について」「大阪府立支援学校における医療的ケアの実施についてのガイドラインについて」や他の府立学校が作成しているガイドラインを参考に、本校のガイドラインの作成をおこなった。また、保健連絡会で再度、日帰りの行事については、学校看護師が付き添いをおこなえるが、泊行事については、今まで通り大阪整肢学院にお願いすることを確認し、週に20時間を2名で予定していることを伝えた。看護師が決まっていないことも伝え、探すための協力を依頼した。

- 令和3年 1月： 保健連絡会で、学校看護師配置についての経過報告を教頭よりおこなった。また、医療的ケア検討会議のメンバーに作成したガイドラインを回覧で確認をおこなった。回覧後、校長にガイドラインの説明と確認をおこなった。
- 2月： 運営会議・職員会議で「本校のガイドライン」の提案をおこなった。また、大阪整肢学院の院長・看護長・主治医（学校医）に個々にガイドライン等の説明を教頭と保健主事でおこなった。保健連絡会でも、看護長・A師長・B師長にガイドラインの説明をおこなった。
- 3月： 保健連絡会で4月当初に学校看護師の紹介と児童生徒の情報交換を行うための保健連絡会を依頼した。  
次年度学校看護師の配置に伴い、保健室の片づけを検討会議メンバーでおこなった。

### 【 学校看護師配置までの流れ 】

書式	書式名	依頼	依頼時期
(書式2)	医療的ケア実施依頼書	学院長より学校	R3.2.22
(書式4)	医療的ケア実施について（お願い）	学校より主治医	R3.3.3
(書式5)	府内特別支援学校 喀痰吸引等指示書	学校より主治医	R3.3.3
(書式6)	医療的ケア実施について（記録）	拡大医療的ケア等安全委員会 で学校長決済	R3.4.7
(書式7)	医療的ケア実施について（通知・同意書）	学校より学院長	R3.4.13